

清陸 經首再將上言又臣嚮キニ基
 向罪ノ事ノニ然キ其利害得失ヲ論シ
 詳ニ之ヲ上陳アリ頃日兩理大臣大
 久保利通ヲ清國ニ差遣シ其為為
 ヲ解カレム其成否未ク之ヲ逆睹スル
 能ハズ而シテ事ノ既シ其端ヲ肉ク中達
 ニシテ止ム可ラス若シ我ノ修理ヲ畫シ
 而シテ彼為肯ンセス却テ彼ヲ興テ
 廢クコトアレハ其變ニ慮スルナキヲ得ス

故、先づ海陸二軍ヲ整理シ彼ヲ併創
スルノ畧ナカレバカラス而シテ之ヲ爲ス所以
ノ者ハ軍資ヲ急ナラシメ若シ事ヲ
ルノ降、當テ資用結カスハ百万ノ精
兵アリト多ク遂ニ其威ヲ自強ス能ハ
ザラントス是 臣ノ日夜嘆息憂苦ス
ル所ナリ故、今痛切之ヲ陳セン諸フ
閣下之ヲ諍セヨ夫レ戊辰己巳ノ役幸
ニ早ク平定スト多ク國力充實ナラサ
ルヲ以テ臣 屬上表シテ邦基ヲ確立シ

内政ヲ整理シ專ラ資材ト蓄財トニ
注意シ速ニ富強ノ實効ヲ奏セラシム
コトヲ務メズ國家ノ事、善シ此ヲ急ナ
ルハナレト多ク再々 朝廷多事ヲ在
算遂ニ今日ヲ以テ大藏省ノ概計表ヲ
閱ルニ本年ノ歲入贏餘アリト多ク佐
賀征討及ヒ基隆出師等ノ費用ヲ
算除セバ或ハ餘アリアルモ亦多シト爲サス
皇城大災ノ後未ダ遺害ノ弊アリテ其
修葺ヲ缺セシ者モ亦少カラスト多ク國

ヨリ之ニ充ルニ足ラレハ今其費用ヲ概
算シテ之ヲ豫定シ玉カサルヲ得ス加ハ今
日ノ兵備ヲ以テセハ 國家ノ存弊此
時ヨリ甚クシキ者アラサラントス然リ而シテ
事ノ既ニ此ニ至ル宜シク非常ノ計ヲ以テ
非常ノ変ニ處シ園國ノ義憤ヲ振作
シ國體ヲ辱カレヌサルヲ以テ急務ト爲
ス此舉實ニ 國家ノ興廢存亡ニ關ス
故ニ臣以爲ラク先ニ建策造等ノ
新制ニ係ル者ハ一切之ヲ停止シ

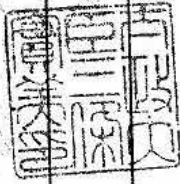
事皆爲憂々仍リ專ラ人民ヲ憂撫
シ凡百ノ用度ヲ節儉シテ軍資ノ不
足ヲ補ヒ且ク諸君司實心國ヲ憂ヒ
百折不撓ノ心ヲ以テ其艱苦ヲ避ケズ
勝ヲ膏ノ新ニ卧スノ思ヲナシ 國
家ニ按セザルヲ得ズルノ秋ナリ夫レ本役
ノ如キ新玉以テ歳月久シカラサルヲ以テ
諸般ノ事皆新制ニ屬ス是ヲ以テ種
費缺乏餘力ナレトモ凡 國家ノ急務一
日モ忽ヒスベカラサルヲ以テ百方有果

用度ヲ節シ既施行スル所ノ事ト至
氏之ヲ中達ト至キ民害ヲ為サハ若
妹ラク之ヲ爲ノ其修シ難キヲ修シ亦
年定之取ノ内事ヲ支消セ尤所ノ者就
キ於事田ヲ還和シ之ヲ軍費ニ修ヤシ
トス自今登々知勸シ其忍フ可カラ
サルヲ忍ヒ專ラ力ヲ極省シ用ヒ盡ル終
アル又將サシ之ヲ献セントス且ツ臣ノ官
俸モ亦此事ノ決定ニ由ルニテ毎月四
ノ三ヲ献シ併セテ軍費ノ第一ニ納フア

ラシテ取ス取クハ微表ヲ懸シテ採納ヲ
賜ハ伏シテ請フ 朝廷達々非常ノ制
ヲ以テ非常ノ變ニ備フルノ方男ヲ豫
定シ軍費ノ多寡ヲ概算シ他日蹉跎
ノ憂勿ラシメヨ是 臣 深ク憂苦スル所
ナリ幸ヲ甚思フ憐ニ其情ヲ察シテ
之ヲ裁擇セヨ誠惶誠恐謹言
明治七年八月十二日 閣下長官黒田清隆
太政大臣 德富蘇我殿

書面本使費額省略ヲ加一拾萬圓
還納之儀ハ御聞届相成候自分月
俸之内四分之三ヲ獻シ軍資被為
元度申出之儀ハ奇特之事ニ候一共
御詮議之次第有之即今不被及
御沙汰候事

明治七年九月四日



臣等頓首再拜謹之テ言ス臣等方今ノ
形勢ヲ察スルニ内外多事經費費ラレ
ス各國交際ノ事起リヨリ以來諸般ノ創
設大使ノ巡航尋テ皇城ノ災佐賀ノ
亂有リ國用匱ヲ告クルニ至ル加之臺
灣問罪ノ舉アリテ事遂ニ清國ト相干
涉ス辨理大臣大久保利通ヲ差遣シ其
議ヲ盡サシムト雖モ不虞ノ變ニ備ヘ
サル可ラス事既ニ此ニ至ル為モ臣子

八月

三月

開石史

タル者節ヲ効シカヲ盡サバ可ケン
臣等菲才ヲ以テ切リニ高祿ヲ辱フ
シ國家今日ノ急ニ當リ恬然寢食ヲ安
シスルノ時ニ非ス是以テ相共ニ協議
シ願ハクハ今般ノ事件結局ニ至ルマ
テ別載ノ通り月俸ノ内ヲ以テ獻納シ
軍資ノ萬一ヲ補ハシテ此資實ニ江海
ノ一滴ト雖臣等ノ寸丹ヲ表スルノニ
幸ニ允裁ヲ賜ヘテ臣等惘願ノ至リニ
堪ヘス誠恐誠懼昧死頓首

明治七年八月十三日

開拓使七等出仕柳田友卿

開拓使七等出仕小牧昌業

開拓使七等出仕八木下信之

開拓使七等出仕折田平内

開拓使七等出仕内海利貞

開拓使六等出仕時任為基

開拓幹事 安田定則

開拓幹事 調所廣丈

開拓使五等出仕 大山 重

開拓少判官西村貞陽

開拓少判官堀 基

開拓中判官長谷部辰連

開拓中判官杉浦 誠

開拓大判官松本十郎

太政大臣三條實美殿

別記

金百七拾五圓

開拓大判官松本十郎

金五拾圓

開拓中判官杉浦 誠

金五拾圓

開拓中判官長谷部辰連

金四拾圓

開拓少判官堀 基

金四拾圓

開拓少判官西村貞陽

金三拾圓

開拓幹事岩田大山 重

金三拾圓

開拓幹事調所廣丈

金三拾圓

開拓幹事安田定則

開拓幹事崔時仕為基

開拓幹事崔時仕為基

金拾五圓

開拓使等出内海利貞

金拾五圓

開拓使等出折田平内

金三拾圓

開拓使等出在木下信之

金拾五圓

開拓使等出在牧昌業

金拾五圓

開拓使等出在柳田友卿

右ノ通毎月献納仕度候事

金五拾圓

開拓使等出在

金五拾圓

開拓使等出在

金五拾圓

開拓使等出在

開拓使

書面月俸之内ノ還納ニ軍資ニ被為
充度申出之趣奇特之事ニ候得共
御詮議之次第有之即今不被及
御沙汰候事

明治七年九月三日

